

退任のご挨拶

長崎県立大学 前学長 太田 博道

鵬友会の皆様、二期させて頂いた学長を任期満了につき三月三十一日をもって退任させて頂きました。

理事長を務めた二年間を合わせて十年間長崎県立大学に関わらせて頂いたこととなります。この間、鵬友会の皆様には大変お世話になり、誠に有難うございました。感謝の気持ちで一杯です。

十年前、縁あって法人理事長のお話を頂いたのは、慶應義塾大学を定年退職して半年くらいの時でした。その頃は「ゆつくりした」生活のペースもできていました。さてどうしたものかと迷いもないわけではありませんでした。さらに、長崎県は学生の頃に旅行で立ち寄っただけの土地で誰一人知人もいない所でもありましたが、先輩友人に背中を押され挑戦する気になり、結果的に大変良かったと感じています。佐世保は海軍鎮守府ができて急速に発展した街と言って良いのですが、「よそ者」を難なく受け入れる懐の広さがあるのだと思います。

この十年間、大学の改革、教育の質の向上が社会的要請となり、大学は変わることが求められました。特に社会科学系では、従来の知識伝搬型教育から能動的学修が求められ、基礎的知識スキルだけでなく、思考力、判断力表現力を獲得させる体系的カリキュラムへの変換が重要課題でした。さらに、主体性を持ちつつ協働できることが何より大切であるとも強く言われます。これらの力を備えた学生を輩出するためには、教員の意識改革はもちろん、地域の皆さんに教育に関わって頂くことも必要です。このような状況で、鵬友会の皆様をはじめ地域の方々の大学へのご支援は本当に有難いことでした。

今後、日本が、そして各地域が特色を持つて元気に存在し続けるためには、人材育成はますます大切になっていくことは間違いありません。長崎県立大学佐世保校の役割はこれまで以上に大きくなるでしょう。

皆様の大学への倍旧のご支援をお願いすると共に、皆様のおますますのご活躍・ご健勝を祈念して、退任の挨拶とさせて頂きます。これまでの温かいご支援に再度御礼申し上げます。



平成最後の卒業生より母校への思い出の言葉が届きました。

経済学部 流通・経営学科 笹野 優香

私たちが平成三十一年三月卒業生は、思いがけなく平成最後の卒業生となりました。建て替え作業が始まる校舎と共に私たちが卒業していくのだからと思うと感慨深いものがあります。

大学生活を振り返ると、興味のあふれる会計を専門的に学ぶことができたことや、アルバイト経験、かけがえのない友人関係を築きあげることができたことなど、様々なことを思い出します。

当たり前のように友人と顔を合わせることのできた学生生活が終わり、告げようとする中、私はまだまだ社会人に対する不安よりも寂しさの方が大きいです。

しかし、社会人になることは終わりはなく始まりであることも理解しています。これからまた、たくさんのお会いや、経験を繰り返していくのだと思います。良い経験ばかりではないでしょう。その時、この四年間の日々が、私を前向きにしてくれるはずです。

就職活動の際、一番の私の長所であると繰り返してきた「相手の立場になって考える姿勢」を忘れずに自分の社会人生活を豊かにしていくことができるよう、積極的に頑張りたいと思います。



セミナーへ昨年参加の学生から嬉しい言葉が届きました。

自分の足りない点を客観的に見れた。

地域創造学部 公共政策学科 溝口 晟飛

この度はお忙しい中、私たち三年生のために佐世保就職セミナーを開催していただき、誠にありがとうございました。

佐世保就職セミナーに参加するにあたり、事前学習として、実際にエントリーシートの作成を行い、また面接グループディスカッションの心構えについて理解し、当日に臨みました。

私は「面接の経験がほとんどなく、一回目の模擬面接が始まると緊張感のある雰囲気は私自身すごく緊張し、面接官の方の質問に対し、答えるまでに時間がかかった時もあり、面接の難しさを肌で感じました。面接が終わった後は、どういった点に注意すべきなのか、話し方における悪い癖など、丁寧に指導いただき、二回目の面接では指摘されたことを意識し、手応えをつかむことができました。

今回佐世保就職セミナーに参加したことで、自分が就職活動に向けて足りない点は何か、客観的に自分を見つめなおすことができ、貴重な経験となりました。丁寧な指導をしていただいた方々のアドバイスを大事にし、今後の就職活動に活かし、精進していきたいと思っております。

自分のすべきことが明確になった。

経営学部 国際経営学科 松浦 明日翔

この度はお忙しい中、私たち三年生のために佐世保就職セミナーを開催していただき、誠にありがとうございました。

面接官をしていただいたOB・OGの先輩方、四年生就職課の方々に先生方に心より感謝申し上げます。

セミナーに参加するにあたり、エントリーシートや集団面接グループディスカッションの練習を行いました。エントリーシートでは、就職課の方の指導の下、何度も添削を重ね、自分の良さを伝えられる書き方を学びました。事前準備を行うことでセミナーに対する意欲がとて高まりました。

セミナーでは、集団面接、グループディスカッションを午前と午後で二回行いました。先輩方よりご指導をいただき、自分に足りないもの、するべきことが明確になりました。

セミナー時間外の昼食時や休憩時にも先輩方とお話する機会を設けていただいたおかげで、就職活動に関するお話をたくさん聞くことができました。今回の経験を活かし、自分がするべきことをリストアップして効率よく就職活動を進められるよう日々友人と切磋琢磨しながら頑張ります。

セミナー応援者募集

本年も十一月開催予定の佐世保就職セミナー応援者を募集しています。後輩への良いアドバイスをお願いします。お問い合わせはお申し込みは各支部長又は鵬友会事務局まで

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会報

おおとり

Vol. 32



発行 長崎県立大学佐世保校同窓会鵬友会
佐世保市川下町一二三(大学内)
TEL/FAX 〇九五六一四七一五二四六
フリーダイヤル 〇二〇一四七一九〇四四

新任のご挨拶

長崎県立大学

学長 木村 務



鵬友会の皆様、本年四月より長崎県立大学学長を務めることになりました木村務でございます。どうぞよろしくお願いたします。

鵬友会には日頃より大学へのご支援・協力をいただいております。心より感謝申し上げます。とくに大学創立記念事業に際しましては在学生の学外活動のためにマイクロバスをご寄贈いただきました。佐世保セミナーでの在学生への面接指導は、全国の数百ある大学にもほとんどみられない本学が誇る取り組みであります。

私は平成十三年から二十七年まで経済学部の教授として本学に在職いたしました。その間平成十七年から八年間副学長を務めました。その折には各支部総会などで役員の皆様始め会員の方々と交流することができました。あらためてお礼申し上げます。

昭和四十二(一九六七)年の長崎県立国際経済大学経済学部の創立以来半世紀余となり、国内外で活躍されている鵬友会会員は一万六千人に及んでおります。皆様の母校である長崎県立大学の学長に就任することは大変光栄なことであり、皆様の思いに応えるべく気を引き締めております。

今年には平成から新しい時代が変わる節目の年ですが、平成の時代に、佐世保校は組織を編成替えしながら大きく発展してまいりました。振り返

りますと鵬友会会員は、発足当初は経済学部経済学科卒業生で構成されておりましたが、平成三年の流通学科増設によりその卒業生が加わり、大学名も長崎県立大学に変わりました。そして平成五年からは大学院経済学研究科の大学院生も加わり、平成十五年には地域政策学科が創設されてその卒業生が新たに鵬友会会員となりました。さらに平成二十年にはシーボルト大学と統合して三学部の中の経済学部となり、長崎県立大学卒業生には看護・栄養学、情報学や社会文化の分野も加わりました。そして平成二十八年には、経済学部が経営学部と地域創造学部の二学部に大きく編成替えされ、学科も、経営、国際経営、公共政策、実践経済の四学科となりました。来年三月にはこの二学部四学科の卒業生が新たに鵬友会会員となる予定です。

このように平成の時代に大きく編成替えし発展してきた佐世保校ですが、この間平成二十二年から十年間、理事長と学長を務められた太田博道学長は、この改革・発展の先導者として新しい時代に対応した大学組織と教育課程を構築されてこられました。その苦労は並大抵のことではなく、私の使命は、この改革を引き継ぎその仕上げをすること深く自覚しております。また太田学長が始められ、多くの鵬友会会員も参加されております。

「学長杯ゴルフコンペ」も引き継ぐ所存です。どうぞよろしくお願申し上げます。「パイオニア精神と国際的識見あふれた産業文化人の育成」を建学理念とした長崎県立国際経済大学の創立から半世紀余、すでに二万六千人もの卒業生が国内外の産業や地域の担い手あるいはリーダーと

して活躍されていますが、この理念は、グローバルゼーションとデジタルゼーションの今の時代こそ、しっかりと受け継がれ、発揮されるべきだと思っております。

今私たちが直面しているグローバルデジタル時代では、技術革新と社会経済変革がダイナミックに起こっておりますが、一方ではそのひずみも露見し、解決すべき課題が次々に発生しております。しかしながら理想とする社会像や国家像が描きにくい時代であり、的確な課題解決法も不明確になっております。なかでも地域社会では少子高齢化と大都市への人口移動によって人口減が止まらず、十年後の社会存続さえ不確実になっている地域もあります。しかし、その解決策は「教科書」には載っていませんし、中央や大都市や海外の人々が的確な処方箋を示し解決してくれるわけでもありません。

私は今こそ長崎県に立地する本学の果たすべき役割は大きいと思っております。中央からは遠く離れながらも古くから海外に開かれた長崎の地、この地でしっかりと今の時代と世界を捉え、未来を見据えて各地域の地域価値・地域文化を発見しその再生と維持を図っていく、それが世界や地域が求める産業文化人や海外と交流・連携する地域社会を担う人材の育成につながると思っております。

そのために、コミュニケーションスキルや情報技術等を習得し実践力を養成する教育課程を整備するとともに、未来の人々の満足を充足するという大学固有の役割を発揮する自由闊達な大学作りを目指していきたいと思っております。どうぞご支援ご協力のほどお願申し上げます。



おおとりたちが一堂に集う日「鵬友会総会」令和元年7月13日(土)開催

2面に要項を記載しています。記念すべき総会にご参加をぜひお待ちしております。

会長挨拶

鵬友会会長 宮地 学



長崎県立大学佐世保校同窓会(鵬友会)会員の皆様におかれましては、益々ご清祥にてご活躍のこととお喜び申し上げます。鵬友会会報「おとと」(Vol.32)発行に際しまして会員の皆様にご挨拶申し上げます。本年度から木村務先生が太田前学長に代わり長崎県立大学の学長に就任されました。木村新学長は、副学長時代から鵬友会活動に積極的に参加いただき、私たち会員にとっても大変親しみのある先生です。この度の先生の学長就任を心より歓迎いたしましたと思います。

前任されました太田前学長におかれましては、鵬友会での学長杯ゴルフ大会開催など、会員との交流にも積極的に参加していただきました。また、昨年の県立大学創立五十周年事業では、太田前学長の主導の下、大学と鵬友会との初の共催事業として開催することで大学との新たな協力関係ができたものと思います。長年にわたり、本当にお世話になりました。

次に佐世保就職セミナーについてご紹介いたします。本セミナーは大学と鵬友会で協議の上、企画を決定します。当該企画に基づき、鵬友会が面接官を派遣し、大学がセミナー運営を担当し、後援会が資金支援を行うという、大学・後援会・鵬友会の三者が一体となった事業で、他大学ではほとんど例を見ない独自の取り組みであるといえます。昨年十一月に実施されました佐世保就職セミナーの学生からのアンケート結果をご報告します。

- ★(質問①)二日を通して、自分なりの課題や改善点が見つかりましたか？
(回答)見つけた99%
- ★(質問②)面接官のアドバイスはわかりやすかったですか？
(回答)わかりやすかったです97%
- ★(質問③)佐世保就職セミナーに参加していかがでしたか？
(回答)よかった90%

以上のとおり就職セミナーにおける学生の評価はすこぶる高いものになっています。佐世保就職セミナーは運営に携わる者にとって負担の大きい行事ですが、学生への貢献度は高く、今後も継続する意義は大きいと思っております。今後とも会員皆様方におかれましては、佐世保就職セミナーに対して引き続きご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

関西支部

●支部長 星 憲夫 (47年度卒)
〒607-2495 575-5500
(TEL)
大阪府高石市代田 2-7-7

次の躍進に向けての 平成最後の総会開催。

関西支部は二〇一九年三月二十三日(土)に支部総会を執り行った。鵬友会本部・藤本副会長、関西佐世保会・友添副会長二名の御来賓をお迎えし、総勢十五名の参加となった。

今回も国際経済大学世代と県立大学世代の参加者がほぼ同数となり、世代間の意見・情報交換が活発に行われた。日時が良すぎたこともあり、会員家族の冠婚などが相次ぎ前回より参加者が予想以上に少なくなつたものの、少人数ながら今までになく盛り上がり、参加者からは非常に有意義な総会であり、次に繋がるとの感想が寄せられた。前年初参加者が今回もリピートで参加し、会員が継続して参加する会へと着実にステップアップしている。

次の総会には参加者が他の会員に声を掛け合い、より関西支部活動の活性化を図りたい。また鵬友会本部や大学と連携し、関西出身在校生の支部総会参加を呼び掛けることも必要と感じた春休みで帰省されている学生など。

あいにく寒の戻りにより、会場の眼下を流れる大川(旧淀川)の桜もまだ開花してはなかったが、次の躍進に向けての地盤固めができた支部総会であった。

大川の満開の桜の様に、長崎県立大学卒業生にとって必要とされる同



支部総会概要
 ●日時 二〇一九年三月二十三日(土) 十九時～二十時
 ●場所 大阪キャッスルホテル「錦城閣」
 ●参加者 鵬友会本部 藤本秀人様(S51) 関西佐世保会 副会長 友添博介様
 【関西支部】
 支部長 星憲夫(S47) 井手隆彦(H8) 岩脇秀和(S47) 浦上重徳(S45) 川崎眞郎(S48) 神戸侑介(H19) 北川良彦(H6) 寺田史記(H10) 戸津武史(H3) 松木伸之(H1) 松田直樹(S45) 横田朋幸(H6) 木野元朝幸(H8) (は卒業年度)

窓会へと発展させて参りますので、今後とも御支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

令和元年 おととりたちが一堂に集う日「鵬友会総会」

7月13日(土) 令和元年の記念すべき総会に会員の皆様のご参加をぜひお待ちしております。

何年たっても 仲間仲間。

元号も新たに「令和」となつた節目の年、三年ぶりの開催となる鵬友会総会・懇親会が、来る七月十三日(土)、レオプラザホテル佐世保において開催されます。

佐世保を中心とし、全国十二の支部がそれぞれ活発な活動を行い、鵬友会の「輪」が益々強固なものとなっております。

このように活発な同窓会は全国でも類を見ないものと思えます。総会は三年振りということもあり、懐かしい顔に会えるものと多数の「おとと」の参加を役員一同心から待っています。

学生時代にタイムスリッブして、昭和・平成・令和の三世代の楽しい時間を過(こ)しましょう！

翌日にはゴルフ大会を計画しています。是非この機会に佐世保へ来てみませんか。



お申し込み方法

●鵬友会総会・懇親会、親睦ゴルフ大会へのお申し込みは、同封の返信用はがきに必要な事項をご記入の上、**6月24日(月)**までに投函下さい。

※宿泊ご希望の方は、直接レオプラザホテル佐世保へお申し込み下さい。
☎0956-22-4141

親睦ゴルフ大会 開催要項

★日時/令和元年7月14日(日)
 ★コース/佐世保平戸カントリークラブ
 佐世保市江迎町奥川内220-6
 ☎0956-66-8221
 ★スタート/9時1分
 8:30分現地集合
 ★参加費/2,000円
 ※プレー費は各自お支払い下さい。
 ★定員/20名
 ※定員になり次第締切ります。

鵬友会総会・懇親会 開催要項

★日時/令和元年7月13日(土)
 16:30 受付開始
 17:00 総会
 18:00 懇親会
 ★会場/レオプラザホテル佐世保
 佐世保市三浦町4-28 ☎0956-22-4141
 ★懇親会費/5,000円
 ※女性及び平成23年3月以降の卒業生は2,500円)

関東支部

●支部長 小室 宏 (62年度卒)
☎030-7005-9214
(自宅)
埼玉県飯能市美杉1-20-15

今年も廣井先生と 平川先生に会えます。

どちらの支部でも「支部総会&懇親会」を定期的に開催しておりますが、関東支部では、三年前からそれらを発展して「東京のつどい」として開催しています。

正式名称は「長崎県立大学・東京のつどい」です。つまり長崎県立大学に縁のある方が東京で集まる、ということですので、一番の目玉は「恩師を」招待するです。

今年も法学の廣井大三(ひろいだいぞう)先生とアジア経済論の平川均(ひらかわひとし)先生にお越しいただきます。お一方からメッセージをいただきます。

皆さんお元気ですか、廣井大三です。私も元気に八十五才を迎えました。私も「東京のつどい」では、私と初対面の方がかなりおられるので、借越ですが、この紙面をお借りして、私個人の教歴の自己紹介をしておきます。

日本大学大学院法学研究科博士課程を無事に単位取得して、法学部助手に採用されたのが教員としてのスタートでした。

その頃に新設された長崎県立国際経済大学に、一九六七(昭和四二)年赴任して、諸君と出会う機会を得たわけです。専任講師、助教授、教授として十六年間勤務しました。次いで東京の大東文化大学法学部

へ移籍して、定年までの二十三年間を無事に終了したわけですが、現在では、都内のマンションに暮らしてありますが、毎年、諸君と会うのを楽しみにしております。

次に、名古屋大学名誉教授の平川先生から届いたメッセージです。紙面の都合で短くさせていただきました。

私の教員人生は一九八〇(昭和五五)年の長崎県立国際経済大学赴任をもつて始まりましたが、それ以降の三十九年間は瞬のうちに過ぎ去つたように思えてなりません。しかし、国際経済大学の思い出は鮮明に甦ってきます。

私の中の佐世保の地の感想は、九十九島の自然美もありますが、それ以上に、情に厚い人情味にあふれる地、というものです。実際、多くの卒業生とは交流が今も続いていて、一年に何度かは佐世保の地、九州の地を思い出させてくれます。

東京のつどいへの私の感想も、同窓会の方々の、厚い情と母校に対する温かく強い思いです。鵬友会に集われる同窓の方々に接していると、それぞれの皆さんが人生の中で母校の卒業生であることのプライドを心に秘めて、社会の中で活躍されてきた人たちだということ。

それにしても二十世紀に入って時代は非連続に変わり始めている感があります。こうした事実も、おそらく大学という実践の世界以上に現役の方々日々の実践の中で直感されていることだと思います。日本の人口も既に減少過程に入っており、学生の競争戦も始まっています。地方大学のおかれた条件は、いささか厳しいものがあります。こうした環境変化の中で大学の競争力は、この現実を学問的に深化させ、適切な政策をとることだと思えます。



今年「東京のつどい」は
 ●日時 七月六日(土)午後 時～五時
 ●会場 門仲バルCoccoro (ココロ) 地下鉄東西線門仲町駅徒歩二分 (今までお知らせしたものと期日が変更になっていきますので、ご注意ください) なお、遠方でお出向が無理な方は、先生にご伝言をお寄せください。「言付け」をされた方は、支部長の私にお届けください。
 私の連絡先 komuro@ho-yu.com

宮崎支部

●支部長 砂原 俊秀 (49年度卒)
☎0985・566・7318
(自宅)
宮崎県宮崎市希野丘3・2・11

太田学長杯ゴルフ大会 第6回宮崎支部総会開催

平成三十年五月十二日(土)に太田学長杯ゴルフ大会、九月二十二日(土)に第6回宮崎支部総会を開催しました。

太田学長杯ゴルフ大会はプロゴルフーナメントコースでもあるフェニックスゴルフコースで開催し、太田学長ご夫妻をはじめ九州各支部からもご参加をいただきました。天候にも恵まれ、最高のゴルフ日和だったという事もあり、松林に囲まれた難コースであったにもかかわらず、参加者からは(スコアに納得できたかはわかりませんが...)非常に楽しい一日を過ごすことが出来たよううかがえました。



夜はゴルフに参加出来なかった宮崎支部のメンバーを含めて太田学長ご夫妻を囲んでの懇親会を行いました。普段は他県の方々と交流ができないなかで、このようなイベントで交流を深めることができ、宮崎支部のメンバーとしても非常に楽しいひと時を過ごすことができました。太田学長ご夫妻をはじめご参加いただいた皆様ありがとうございます。宮崎支部総会については、ホテルメリージュ「飛翔の間」にて六回目となります。来賓として鵬友会宮地会長をはじめ大分支部、佐賀支部、熊本支部、鹿兒島支部からご参加をいただき、総勢二十名の参加での開催となりました。来賓いただきました皆様、心から感謝申し上げます。



支部総会は、開会挨拶に始まり、来賓紹介、活動報告、会計報告ならびに会計監査報告、質疑応答とスムーズに進行し、無事終了いたしました。懇親会では、同世代間での学生時代の思い出や先輩、後輩での佐世保の移り変わりの様子などの話で会話が盛り上がり、みなさん限られた時間の中では、とても語りつくせないような感じでした。少人数ではありますが、世代を越えて交流を深めることが出来ました。今回は仕事等の都合で参加でき

熊本支部

●支部長 早田 昌博 (H4年度卒)
☎0968・38・5879
(自宅)
熊本県菊池市洞水町吉富457・1

若い会員の取り込みを 一番に考えて活動。

日頃より本部、各支部の皆様には大変お世話になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。さて、熊本支部の年間活動としては、六月に総会、十二月に忘年会を支部発足から毎年続けており、翌日には必ず親睦ゴルフコンペを開催しています。ただし、私も支部長として二期目に入りましたが、相変わらず若い会員(平成卒)の参加者が少ない事の難しさを痛感させられています。

この会報が配布されるころには平成が終わり新年号にかわっていきま。鵬友会全体での問題として真剣に取り組んでいかなければならないと考えていますので、七月の全体総

ない方も多数いらっしゃいましたが、今後とも人とのつながりによって参加者の拡大に努めていきたいと思っております。宮崎支部の皆様、更に多くの卒業生にお集まりいただき、同窓会活動を盛り上げていきたいと思っておりますので、総会の際にはお気軽にお集まりください。皆様方のご参加をお待ちしております。今後とも宮崎支部をよろしく願います。

会に向けて少しでも若い会員の方の参加が増えるように熊本支部でも呼びかけていきたいと思えます。また、毎年本部より活動費をいただいておりますが、毎年開催の熊本支部総会、忘年会での会費補助(熊本支部では女性の会員は費用を若干安くして)や各支部の総会、忘年会に出席する際の会費(交通費、宿泊代など)の出費が続いた場合は、熊本支部では現状の活動費用では厳しいのが現状です。この点につきましても、会のより良い活動をする上でも今後検討をしていきたいと考えています。最後になりますが、熊本支部では今後も引き続き若い会員の取り込みを一番に考えて活動していこうと思っておりますので、この会報を読んで平成卒の会員の皆様、ぜひ一度総会、忘年会、親睦ゴルフコンペに参加してみませんか? 堅苦しくなく楽しい集まりですよ。



佐賀支部

●支部長 吉浦 啓介 (61年度卒)
☎0952・921・2109
(自宅)
佐賀県佐賀市大和町東山田4471番地

これから若い世代に 引き継ぐためには。

昨年十月に母校の綱地域創造学部長様、鵬友会の宮地会長様並びに各支部からのご来賓をいただき、佐賀支部総会を開催しました。ご来賓の皆様には公私ともお忙しい中、誠にありがとうございました。佐賀支部総会は隔年で開催しております。次回は来年の十月を予定しております。

今回、九名という多数の方々にご来賓いただきましたが、支部会員の参加が少なかつたのは残念でした。掲載の写真を見ていただければ一目瞭然ですが、参加いただいた支部会員は、私を含め六〇を超えた方が大半で、回を重ねるごとに固定化、高齢化が顕著になってきています。総会を開催するたびにこれからの支部活動を若い世代に引き継いでいくために、どうしたらいいものやらと思索しています。が、ポジティブに考え、佐賀支部には仕事をはじめ、自治会活動、ボランティア活動など、気力、体力、能力が充実した諸先輩が活躍されているということ、す。何も私が悲観することもない、と発想の転換をすることとしました。

若い人の参加が少ないことを嘆くことなく、参加できる人がそれぞれ楽しく過ごせることを念頭に活動を継続していこうと思直しました。とは言っても若い世代の参加は必要

不可欠です。参加できる人は気軽に参加ください。佐賀支部長を仰せつかって四年が経過しましたが、これからは気楽にやっついこうと思直しています。



お願い!!

事務局では日々名簿の更新を行いながら、多くの会員の手元に届くよう努力しています。卒業生の皆さん、鵬友会からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちよつとした心掛けが、同窓会を応援しているのです。

佐世保支部

●支部長 山口 智久 (62年度卒)
☎0959・200・7138
(自宅)
長崎県佐世保市赤崎町1461・2

交流の活性化をめざして 『支部交流会を夏に開催予定』

平成三十年度の活動状況ですが、①八月の支部総会において、佐世保市副市長(本学OB)による講演会を開催し、懇親会では、他の支部の活動や大学の動きに接しながら、会員間の交流を図りました。②十一月の就職セミナーでは、若い会員も参加して後輩のために模擬面接にあたりました。③二月には新年会を開催し、二年の抱負と今後の支部活動について協議しました。

支部活動は定着してきたとは思いますが、一方で、活動に拡がりが見られないことが課題です。他の組織の同窓会との共同開催等について検討しているところですが、今後でもできる限り多くの会員の皆様が活動に参加できるように趣向を凝らせばと思っております。昨年の佐世保は、国際クルーズ船の寄港、九十九島の世界で最も美しい湾クラブ加盟、黒島集落の世界遺産登録など明るいニュースの多い年でした。

大学も学部学科の再編、キャンパス整備の進展など大きく変わっており、また、大学正門前には市役所相浦支所と公民館の複合施設がオープンするなど周辺も賑わいが増えています。

佐世保を離れている方々には、是非一度、変貌している佐世保にお越し

中国支部

●支部長 栗根 秀則 (69年度卒)
☎084・6999・3699
(自宅)
広島県福山市神辺町上土7-3
サブアドレス106

『中国支部設立二十八年目』 足を伸ばして四国地区会 開催を目指します!!

中国支部設立(平成三年十一月)から二十八年度に突入しました。前年度の活動は、昨年十一月に就職セミナー(一名を派遣、今年二月には福山地区会(五名参加)を開催しました。

中国支部の現状の活動拠点は、福山市、広島市、岡山市で、地区会が開催可能な状況です。カーブでもゴルフでも呑み会でも、ご要望に応じて楽しく企画開催したいと考えております。

本年三月には、四国(愛媛県)の同窓生とコンタクトが取れ、年内中には初の四国地区会を松山・今治方面?での開催を目指して行きます。当支部の課題は、メンバーが固定化され、長期に亘る経年劣化で高齢化しており、参加者も年々少なくなっている状況です。

また、中国支部総会も長年開催できておらず、何とかして開催したいとも考えております。是非とも若手をはじめ皆様方の積極的なご参加

方、まずはご二報をお願いするものです。特に、四国在住の方のご連絡を心待ちにしております。



転居の際は必ず新住所を 鵬友会事務局へお知らせ下さい

郵便局の転送サービスで会報を受け取られた場合は、その時点では宛先不明戻ってこないため、住所を変更されたことがわかりません。そのため転送期間終了後は、鵬友会からの情報をお届けすることが出来ませんので、転送サービスで届いた方、住所を変更される方は事務局に必ずお知らせ下さい。

【鵬友会ホームページURL変更のお知らせ】 【新URL】 <http://ho-yu-kai.la.coccan.jp>

以前のトップページのURLからは自動的にジャンプするようにしておりますが、以前のURLで「ブックマーク」「お気に入り」等の登録を行っている方は、お手数ですが登録の変更をしていただきますようお願いいたします。鵬友会の新しい情報が満載です。ぜひご覧ください!!

【鵬友会ホームページ】 <http://ho-yu-kai.la.coccan.jp>
【鵬友会メールアドレス】 ho-yu@nifty.com
【管理者メールアドレス】 komuro@ho-yu.com (小室 宏/関東支部)

鹿児島支部

●支部長 徳久 銀治郎
(64年度卒)
090・8419・7099
(自宅)
鹿児島市伊敷台6-10-2

第7回鵬友会 鹿児島支部総会開催

平成三十一年二月二十三日(土)、鹿児島市の繁華街天文館に近いホテルパルスイーン鹿児島において、第七回鵬友会鹿児島支部総会・懇親会を開催。鵬友会本部より宮地会長、大学より古河副学長、山田学生支援部長をはじめ、大分、佐賀、熊本、宮崎の各支部からの参加をいただき、総勢四十数名の参加で開催されました。

宮地会長、古河副学長には鵬友会の現状や大学の現状と今後について報告を交えた挨拶をいただきました。少しばかりの寂しさを感じながら見送った学部再編による「経済学部」という名称の消滅から早や四年という歳月が流れたことに、改めて感慨深いものを感じたのは私だけではありません。感傷はさておいて、この間、現役学生の方々の向学心溢れるバイタリティーと大学側の並々ならぬ努力という両輪によって「長崎県立大学佐世保校」という名前は名実共に全国レベルでの評価が格段に上がってきているようです。

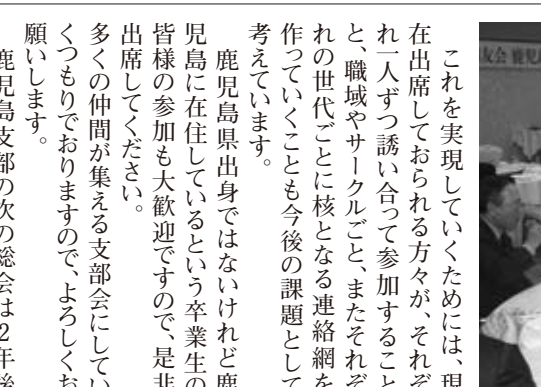
お二人の話から、私たち卒業生と、同窓会、大学との連携が今後より一層大切になっていくものと痛感しました。これからも同窓生の皆さんが、お

互いに協力できる、支えあうことができる環境づくりに取り組んでいくとともに、就職セミナー等に積極的に参加することで、これから卒業していくことへの使命感を新たにしました。引き続き本題である一九三〇年度の活動報告、会計報告、会計監査、および三十一年度の活動予定、予算案、役員改選案などが審議され、承認されました。



若い力が場の雰囲気を感じ取り上げる。世代を超えた交流。総会も無事終了し、懇親会へ。徳久新支部長の挨拶、山田学生支援部長の乾杯の音頭でいよいよ飲ん方が始まりました。昭和から平成、幅広い世代の仲間が集い、遠い？学生時代の話題に花が咲いていたようです。特に、サークルが同じだった方々や、下宿が同じ方々にとっては、世代を超えて、親近

感とともに、連帯感が芽生えていたようです。今回は五十年三月卒業生の八ヶ代さんを中心に同期生の皆さんが当時の歌「戦争を知らない子どもたち」や「遠い世界に」などの歌を演奏、合唱するなど最高に盛り上がりたようです。限られた時間での懇親会、話題が尽きない中終了の時間を迎え、内田副支部長の中締め挨拶で懇親会を終了しました。折り悪く、今回参加できなかった仲間の方々も次回はぜひ参加して一緒に語らしましょう。



今後の課題。今年度は鹿児島支部の設立準備から十年という節目の年、また来年三月すなわち令和二年が鹿児島支部発足十周年になります。これを機に支部役員も徳久新支部長のもと新たな体制でスタートいたしました。これまでとは一味も二味も違う支部の運営が行われることと思います。鹿児島支部の場合、支部総会・懇親会には二回生から直近の卒業生まで幅広い世代の方々も出席してらっしゃいますが、もっと多くの方々



出席していただければ、いろんな意味で、支部の存在感が増していくのではないかと思います。これを表現していくためには、現在出席しておられる方々が、それぞれ一人ずつ誘い合って参加すること、職域やサークルごと、またそれぞれの世代ごとに核となる連絡網を作っていくことも今後の課題として考えています。鹿児島県出身ではないけれど鹿児島に在住しているという卒業生の皆様の参加も大歓迎ですので、是非出席してください。多くの仲間が集える支部会にしていくつもりでありますので、よろしくお願ひします。鹿児島支部の次の総会は2年後の二〇二二年になります。改めて開催のご連絡をいたしますので、重ねてよろしくお願ひします。この度、鵬友会鹿児島支部長を引き受けることになりました昭和五十四年度卒の徳久でございます。鹿児島支部は平成二十二年二月十三日に発足し早いもので今年十年目となります。初代の中野支部長、二代目が濱

鵬友会ホームページを見えていますか？

現在、鵬友会のホームページは随時リニューアルし、最新情報が盛り沢山。デザインも、以前とは一味違ったホームページになっています。大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が一目で……。

【鵬友会ホームページ】 <http://ho-yu-kai.la.cocacn.jp>
【鵬友会メールアドレス】 ho-yu-@nifty.com
【管理者メールアドレス】 komuro@ho-yu.com (小室 宏／関東支部)

福岡支部

●支部長 米村 裕昭
(49年度卒)
090・80952・63886
(自宅)
福岡県宗像市泉ヶ丘1-15-19

同窓生同士の交流、 新しい体制でリスタート。

今年四月一日で新元号と同時に福岡支部長に就任いたしました、米村です。今、少子化問題が深刻な日本の中で、福岡市の人口増加率は東京を抜いて、全国一位、世界ランキングでは、第七位で頑張っています。と同時に福岡支部の同窓生数も、五年前頃は、五百人程度でしたが、いまや約千名規模で大躍進中です。その様な環境の中ですが、残念ながら同窓生の参加率はほぼ横ばいで、さみしい限りです。ですから、今求められている福岡支部の最大の課題は同窓生同士の交流です。開学五十周年を迎え、同窓生同士も年齢差の違いを感じている方もおられますが、年齢差を乗り越えて、この目標に向かって、果敢にチャレンジしようではありませんか？

私はもう七十歳ですがこの目標に向かって、誠心誠意頑張りたいと思います。みなさん、よろしく、お願いいたします。「米村 裕昭」

会員の皆様、お疲れ様です。平成九年卒福岡支部の荒木です。福岡支部では二ヶ月毎に懇親会を開催して会員の親睦を深めております。今年度も友人の紹介や福岡支部Facebookをご覧になられて参加していただいた会員もおり、懇親の輪を広げています。



転居の際は必ず新住所を事務局へお知らせ下さい

郵便局の転送サービスで会報を受け取られた場合は、その時点では宛先不明で戻ってこないため、住所を変更されたことがわかりません。そのため転送期間終了後は、鵬友会からの情報をお届けすることが出来ませんので、転送サービスで届いた方、住所を変更される方は事務局に必ずお知らせ下さい。鵬友会と皆様を結び会報などを正確にお届けするためにもご協力をお願いします。

今年四月一日で新元号と同時に福岡支部長に就任いたしました、米村です。今、少子化問題が深刻な日本の中で、福岡市の人口増加率は東京を抜いて、全国一位、世界ランキングでは、第七位で頑張っています。と同時に福岡支部の同窓生数も、五年前頃は、五百人程度でしたが、いまや約千名規模で大躍進中です。その様な環境の中ですが、残念ながら同窓生の参加率はほぼ横ばいで、さみしい限りです。ですから、今求められている福岡支部の最大の課題は同窓生同士の交流です。開学五十周年を迎え、同窓生同士も年齢差の違いを感じている方もおられますが、年齢差を乗り越えて、この目標に向かって、果敢にチャレンジしようではありませんか？

令和元年 福岡支部総会のご案内

「今年たつても仲間は仲間」を合言葉に一年一度の福岡支部総会を開催いたします。今年短い時間ですが、役員による「ビジネスセミナー」も開催いたします。ぜひご参加ください。

日時：令和元年六月二十三日(土)
懇親会 十七時～受付十六時半

- 会場：平和楼天神本店
福岡市中央区天神2-6-42
電話：092・714112
- 会費：五〇〇〇円
※平成十年度以降の卒業生
- 申込：氏名卒業年度携帯番号を明記して米村裕昭宛にメールを
送信下さい
hiraoki.yonemura@gmail.com
- 締切：六月十四日(金)まで

Facebookを使用されている方はアカウント「鵬友会福岡」へのメッセージでも受付中！

長崎支部

●支部長 川久保 芳洋
(50年度卒)
0905・8098・05309
(自宅)
長崎市高城台2-1-13-4

鵬友会長崎支部、 今年も元気です！

平成三十一年度の長崎支部活動として、まず、七月十四日にレオプラザホテル佐世保で開催された鵬友会役員総会に私が出席しました。また、十一月十七日に佐世保就職セミナーがあり、長崎支部から三名が参加し、学生への面接指導等の就職支援を行いました。現役学生と緊張の中にも新鮮な時間が持てて、自分の若き日がしばし甦ってきました。明けて、平成三十一年一月二十六日に、恒例の総会・新年会を、長崎市のホテルセントヒル長崎で開催しました。

今年も、名誉教授岡崎先生、元事務局長濱田さん、本部の藤木副会長さんにご出席いただき、総勢二十八名での楽しい会となりました。以上の例年の活動のほか、初めての試みとして、十月十三日に行われた佐賀支部の総会に私が出席させていただきます。吉浦支部長さん以外は初めてお会いする方ばかりなのでどうなることかと思いましたが、そこはやはり年齢は違えど同じ同窓生、佐世保の話で本当に楽しい時間を過ごすことができました。吉浦支部長さん、お世話になりました。

この取り組み、予算の関係もありませんが、少しずつでも広げていければと思っております。



元号が変わった令和元年度も、元気で笑顔いっぱい長崎支部を目指します。

平成30年度 鵬友会本部活動報告

☆は支部応援活動

- 【平成30年】
- 4月4日(水) 入学式 於:アルカスSASEBO 宮地会長・藤木副会長・荒木副会長
 - 4月21日(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
 - 6月1日(金) 会報「おおとり」vol.31発行 9,578通送付
 - 6月9日(土) ☆熊本支部総会 於:三井ガーデンホテル 宮地会長
 - 6月23日(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
 - 7月8日(日) ☆関東支部総会(東京のつどい) 於:門仲バル Coccroco
 - 7月14日(土) 役員総会・懇親会 於:レオプラザホテル佐世保
 - 7月23日(月) 鵬祭実行委員会へ鵬祭運営費援助
 - 8月25日(土) ☆佐世保支部総会 於:レオプラザホテル佐世保
 - 9月22日(土) ☆宮崎支部総会 於:ホテル メリージュ 宮地会長
 - 10/13(土) ☆佐賀支部総会 於:ホテルグランテ はかくれ 宮地会長
 - 10月20(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
 - 11月17日(土) 佐世保就職セミナー 於:長崎県立大学
学生121名、OB43名、内定者、教職員が参加
 - 12月1日(土) ☆大分支部総会 於:大分センチュリーホール 藤木副会長

- 【平成31年】
- 1月19日(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
 - 1月26日(土) ☆長崎支部総会 於:ホテルセントヒル長崎 藤木副会長
 - 2月16日(土) ☆大分就職セミナー 於:コンパルホール
学生13名 OB20名が参加
 - 2月23日(土) ☆鹿児島支部総会 於:ホテルパレスイン鹿児島
宮地会長・藤木副会長
 - 3月9日(土) ☆東海支部総会 於:名古屋国際ホテル
 - 3月19日(火) 卒業式 於:長崎ブリックホール(長崎市) 宮地会長
卒業生へ記念品(ことば運び)を贈呈
 - 3月23日(土) ☆関西支部総会 於:錦城閣 藤木副会長
 - 3月29日(金) 新入生より同窓会費が納入された
 - 3月30日(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保

何年たっても、仲間はずい。

平成30年度も各支部の応援を含め、多くの活動を行いました。令和元年度も各支部とのより深い連携を計りながら鵬友会発展のため活動を行います。会員皆様のご協力をお願い致します。

大分支部

●支部長 青野 浩志 (53年度卒)
☎097・544・8016
(自宅)
大分県中分市豊郷8組1

学生の意気込みが満ち溢れた「就職セミナー」を開催!!

今年度は平成最後の年(この会報が送付される時は新元号になっていそうですが)ということで、昭和は名実ともに遠くなりました。昭和生まれ、昭和卒の世代としては寂しい気もしますが、これを機に支部活動も平成卒の方々に徐々にバトンタッチをしていき、若い発想の下で、支部の活性化に繋がればと思っております。そうした中、本年二月十六日、「第二十二回大分支部就職セミナー」を開催しました。

三年生十三名、OB二十名が参加して、県内企業の就職情報や愛情に満ちた助言、そして懇談会では学生に各業種の詳細を伝授?していました。今回は、後輩のために!と平成卒OBが多数参加してくれましたので、学生も話しやすかったものと思っております。一般的には売り手市場と言われますが、大分県内で志望する業種・企業となると依然として厳しい状況です。大学の就職率向上のために、そして何よりも大分県出身の後輩が志望通りに就職できるような、その一助になればと毎年このセミナーを開催しています。できれば地元大分に就職してもらい、支部活動で再会できることを楽しみにしています。

次の活動は、「夕涼み会」(七月頃)と総会(十一月)を予定しています。時代は違っても、佐世保という特色のある街で青春時代を過ごしただけに、毎回、共通の話題で花が咲き、初めの方も直ぐに打解け、お店に迷惑をかけるほどの大騒ぎ?になっています。多くの方のご参加を心からお待ちしております。



東海支部

●支部長 神藤 和彦 (53年度卒)
☎0532・64・0847
(自宅)
愛知県豊田市牛久町薬師前4・14

新しい体制で多くの参加者を目指す。

平成三十一年三月九日(土)午前十一時三十分から名古屋栄の国際ホテルにおいて、第十三回東海支部総会懇親会を開催いたしました。今回は趣を替えて支部懇親会の開催時間を夜の部から昼間の部に変更して参加者の増員を試みましたが、結果的にはここ数年並みの十名に留まり、出席者の増員には至りませんでした。



私からは総会の議題である平成三十年度の活動報告・会計報告ならびに平成三十一年度の主な活動予定について審議をいただき、加えて次年度の役員改選が行われ、長年に渡り東海支部の事務局長を務めていただいた

事務局が伊東さんから高瀬さんにバトンタッチされました。

これからよろしくお祈りします。



鵬友会事務局 高瀬 理沙

昨年10月より鵬友会の事務局職員としてお世話になっております高瀬と申します。私は生まれも育ちも佐世保で、前職は金融機関に勤めておりました。

約5年ぶりの社会復帰ということで不安と緊張もありましたが、多くの方に支えていただきながら少しずつ仕事の方も慣れてきました。

子供も二人おり毎日慌しく過ごす日々ですが、子供たちが寝静まった後にゆっくり振り返り溜めたドラマを見るのが私の心休まる時間です。

現在事務局は学生会館2階(ラウンジ横)ということもあり、仕事中はいつも学生達の賑やかな声・笑い声が聞こえ、更にお昼時になると美味しくお祈りしています。

その賑やかさにも最初は驚きましたが今はすっかり慣れ、学生が長期休暇に入ると途端に静かになるのが少し寂しくもあります。学生達の元気をもらいながら、仕事も頑張っていきたいと思っております。

また7月には総会が開催されます。事務局でも総会に向けて準備に取り掛かっておりますので、ご都合がよろしければ是非ご参加ください。皆様にお会いできるのを私も楽しみにしております。

これから至らぬ点も多々あるかと思いますが、鵬友会の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

何かございましたらいつでも事務局までご連絡ください。

これからどうぞよろしくお祈り致します。

これまでありがとうございました。

前鵬友会事務局 伊東めぐみ

平成18年3月から平成30年9月まで、鵬友会の事務局職員としてお世話になりました。

在職中は至らぬ点もあったかと思いますが、皆さまからの温かいご支援のおかげで、充実した日々を送ることが出来ました。本当にありがとうございました。

事務局に入り最初に驚いた事は、鵬友会の活発な活動内容です。総会の開催や会報の発行だけでなく、全国に12の支部を持ち、支部総会や地区会が行われ、同期生同士はもちろん、先輩・後輩の縦のつながりも強く、様々な交流会が行われていました。

他にも、在学生への支援という面では、毎年大学で行われている「佐世保就職セミナー」において、全国から様々な職種の卒業生が講師として参加され、面接の練習をしたり、就活の体験談を話したり、社会人としてのマナーや就職した後の心構えなど、様々なアドバイスを送られていました。このような取り組みは、他の大学と比べても珍しく、卒業生の皆さまの後輩に対する熱い思いをひしひしと感じました。

在職中多くの素晴らしい方々のそばで、いろいろなことを経験させてもらったことは、私にとって大切な宝物です。

これからも皆さんから教わったことを活かし頑張っていきたいと思っております。

退職後も佐世保におりますので、もしどこかで見かけられたら、お声をかけてくださると嬉しいです。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と鵬友会のますますのご発展をお祈りしています。

お願い!!
事務局では日々名簿の更新を行ないながら、多くの会員の手元に届くよう努力しています。
卒業生の皆さん、鵬友会からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。
ちょっとした心掛けが、同窓会を応援しているのです。

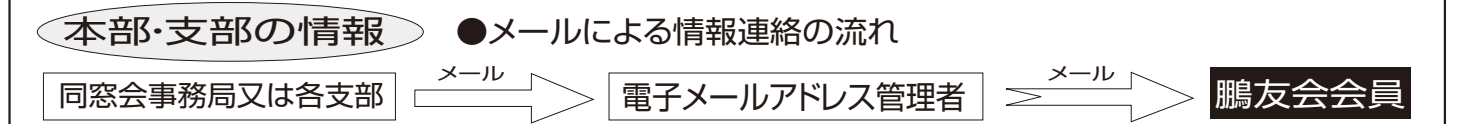


た阪さん(平成13年度卒)から加藤さん(平成28年度卒)へバトンタッチして頂くことになり、その他の方は留任することが了承されました。東海支部の次年度総会は、来年二月または三月開催とすることが承認され、中村前支部長の号令に従い、次会会場へ向かいました。次回も多くの方が参加されることを心から期待しております。

メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで、平成15年7月の役員総会において、今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議いたしました。つきましては、会員の皆様はメールアドレスを管理者にお教えてください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。また、登録メールアドレスの確認も含めて、この会報の届く直前に「会報発送メール」を送信しました。

メールアドレスを以前に登録いただいている方で、未着の方は誤ったメールアドレスが登録されている可能性がありますので、再度お知らせください。メールアドレスの管理者氏名/小室 宏/関東支部長・アドレス/komuro@ho-yu.com(ここにメールを送って下さい)



30年度も多くの会員より同窓会活動に多額の寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。

鵬友会の同窓会活動を支えてください

鵬友会会員 1万5千名の同窓会活動費は終身会費で賄っており、終身会費は、概ね新入生の終身会費一括納入に頼っているのが現状です。同窓会活動は、就職セミナー、支部活動等年々活発化しており、その活動を支える同窓会活動費が逼迫してきています。終身会費を既に納入いただいた同窓の皆さんに寄付のご協力をお願いしております。出費多難の折とは存じますが、同窓会活動をご支援ください。

◆終身会費◆
12,000円(会費:1万円・入会金:2千円)

◆寄付金◆
金額は 3千円 5千円 1万円 それ以上は随意

※同封の振込用紙にて振込み下さい。

★お問い合わせは事務局まで

TEL:0956-47-5146

(電話窓口:平日午前9時~12時まで)

E-mail:ho-yu-@nifty.com

昨年度寄付のお願いを致しましたところ、多くの会員よりご寄付を頂きました。ありがとうございました。紙面を借りましてお礼申し上げます。鵬友会運営のためには皆様のご協力が必要です。引き続きよろしくお願致します。

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会長 宮地 学

寄付者名簿(H30.4~H31.3)順不同・敬称略

瀬戸口 功	野村 剛	北村 正史	松本 文昭
樋谷 寛治	芦刈 修司	高田 和香	池田 明人
瓜生田憲治	野間 健司	瀧口 治昭	森内 正美
田中 一成	上坂 泰伸	西村 浩太郎	坂本 博
笠岡 一之	柳 純	角 俊郎	大浦 一人
有吉 康治	境 松太郎	北岡 俊司	大浦 倫子
榊原 雄三	浜辺 千昭	宮田 慎吾	和田 直也
広瀬 一郎	古川 武	今井 敬	野上 公男
赤瀬 政弘	長神 英聖	荒巻 宗一	宮坂 崇
田岡 一樹	竹之下 博	藤井 新一	松山 敏弘
田邊 誓司	浦 利三郎	高増 法廣	岩脇 秀和
高森 平太郎	中川 清久	松田 直樹	多々川 慎仁
佐伯 雅典	宮地 学	木下 秀一	安部 勝己
吉田 裕司	永嶋 圭祐	吉田 健児	
平子千太郎	川上 陽介	太郎浦雪乃	
千北 裕吉	小宮 三朗	松本 義信	
日浦 淳子	松岡 紀昭	諸田 義信	

寄付金合計 335,000円



長崎県立大学 学歌
 天翔る者
 作詞 市川森 / 作曲 大島ミチル

夢を追う者よ 真理の海の青
 果てしなき 船路に挑む
 勇氣は 誰(た)が為か
 嵐吹く夜も 逆巻く波の背も
 越え行きて 進むわれらの
 命の輝きよ

限りある 人の世の
 希望の 港求め
 純白の 帆を上げて
 新たな 旅の始まりに

天翔(あまかけ)る者よ 理想の空の青
 美しく 流れる雲の
 行く果ては 何処(いず)か
 愛を知る道も 心の学舎(まなびや)も
 若き日の 涙は秘めて
 明日(あした)の風になろう

手に手とり 信じ合い
 平和の鐘を鳴らす
 高らかに 誇らしく
 歌おう 旅の始まりに

いつまでも どこまでも
 永遠(とこしえ)の誓(ちか)いで
 共(とも)に行(い)く あの丘(かみ)

長崎県立大学

平成30年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位:円) 平成31年3月31日

科目	予算金額	実績金額	備考
1 会費(卒業生)	0	0	
2 会費(新入生)	0	12,000	@12,000×1名
3 会費(次年度新入生)	5,160,000	4,800,000	@12,000×400名
4 名簿代	0	5,000	1名
5 寄付金	300,000	335,000	66名
6 預金利息	1,500	610	※利率減0.025→0.010%
7 雑収入	170,000	150,000	
8 (小計)	5,631,500	5,302,610	
前年度繰越金	5,241,992	5,241,992	
合計	10,873,492	10,544,602	

(支出の部)

科目	予算金額	実績金額	備考
1 鵬祭援助金	150,000	150,000	
2 卒業記念品代	260,000	285,000	
3 通信費	1,200,000	1,295,118	
4 人件費	900,000	682,250	
5 支部活動費	960,000	960,000	
6 旅費交通費	200,000	204,690	
7 渉外費	100,000	154,657	
8 事務局費	170,000	147,921	
9 印刷費	1,000,000	956,880	
10 鵬友会基金特別積金	0	0	
11 会議費	100,000	47,952	
12 総会費	600,000	482,002	
13 雑費	10,000	6,048	
14 部活動援助費	20,000	0	
15 就職活動援助費	100,000	50,000	
16 会費返金	0	35,352	
17 (小計)	5,770,000	5,458,070	
次年度繰越金	5,103,492	5,086,532	
合計	10,209,632	10,544,602	

(収入の部合計) - (支出の部合計) = (次年度繰越金)
10,544,602円 - 5,458,070円 = 5,086,532円

平成30年度貸借対照表

(単位:円) 平成31年3月31日

資産の部		負債・資本の部	
現金	35,068	鵬友会基金特別積立金	6,000,000
郵便貯金	36,000	繰越金	5,086,532
普通預金	6,697,136	未払金	2,500,000
定期預金	6,818,328	(創立50周年記念事業協賛費)	
合計	13,586,532	合計	13,586,532

平成30年度財産目録

(単位:円) 平成31年3月31日

預金種目	金額	預入先
現金	35,068	
郵便貯金	36,000	佐世保西郵便局
普通預金	6,430,246	親和銀行本店営業部
普通預金	266,890	親和銀行相浦支店
定期預金	6,818,328	親和銀行本店営業部
(現預金合計)	13,586,532	
出資金	0	
合計	13,586,532	

平成30年度鵬友会基金特別積立金

(単位:円) 平成31年3月31日

項目	入金	出金	残高
期首残高	-	-	6,000,000
当期繰入	-	-	-
期末残高	-	-	6,000,000

平成31年4月6日
鵬友会会長 宮地 学
収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。

林 宏 俊 (印) 岡 龍 夫 (印)